

令和7年度第1四半期における運用状況等

(令和7年4月～令和7年6月)

独立行政法人農業者年金基金は、年金資産の安全かつ効率的な運用を行っています。令和7年度第1四半期における運用状況を「独立行政法人農業者年金基金中期計画」に基づき公表いたします。

当基金が行っています年金資産の運用においては、確定拠出型の年金制度であることから、原則、資産を時価で評価しなければならないため、金融・経済情勢等の運用環境の影響により、短期的には、運用成績が変動しマイナスになることがあります。長期的な運用により安定した運用収益を上げることが期待されます。

今後とも、安全かつ効率的な運用を徹底して参りたいと思いますので、皆様の御理解を賜りますようお願い申し上げます。

【参考】

独立行政法人農業者年金基金中期計画（令和5年3月23日認可）－抜粋－

2 年金資産の安全かつ効率的な運用

(4) 運用の透明性の確保

年金資産の構成割合、運用成績等については、四半期ごとにホームページで情報を公表するとともに、被保険者等
に対して、毎年6月末日までにその前年度末現在で評価した個々の被保険者等に係る運用結果を通知する。

目 次

	頁
1. 令和7年度第1四半期（令和7年4月～令和7年6月）における運用環境について	1
2. ベンチマーク・インデックスの推移	2
3. 令和7年度第1四半期（令和7年4月～令和7年6月）におけるポートフォリオ別の運用状況 . . .	3
（参考）用語の説明	5

1. 令和7年度第1四半期（令和7年4月～令和7年6月）における運用環境について

（4月）

株式については、外国株式は米国が発表した相互関税が世界経済に悪影響を与えるとの懸念が広がり株価は下落しました。

国内株式は、米関税政策を受けて株価は一時大幅下落したものの、その後は米国が相互関税の上乗せ部分を一時停止すると発表したことで過度な警戒感が後退した他、米中の貿易摩擦の緩和期待などを背景に株価は上昇しました。

債券については、国内外債券は米関税政策による世界経済の悪化懸念により買いが集まり金利は低下（債券価格は上昇）しました。

なお、為替は米関税政策を意識したリスク回避の動きから円高・ドル安となりました。

（5月）

株式については、外国株式は米中が関税率の一時的な引き下げに合意した他、米国がEUに対する追加関税の発動を延期するなど米関税交渉に進展が見られたことで株価は上昇しました。

国内株式は、米関税交渉に進展が見られた他、円安の進行に伴い輸出関連株が買われたことで株価は上昇しました。

債券については、外国債券は米政権の掲げる大型減税法案を巡り財政赤字拡大への警戒感から金利は上昇（債券価格は下落）しました。

国内債券は、20年国債の入札が不調に終わったことなどで需給不安が意識され、超長期債を中心に金利は上昇（債券価格は下落）しました。

なお、為替は米関税交渉に進展が見られたことで円安・ドル高となりました。

（6月）

株式については、外国株式はイスラエルとイランが停戦に合意したことや米国とカナダの貿易交渉を巡る進展への期待の他、FRB（米連邦準備制度理事会）が早期に利下げに動くとの観測から株価は上昇しました。

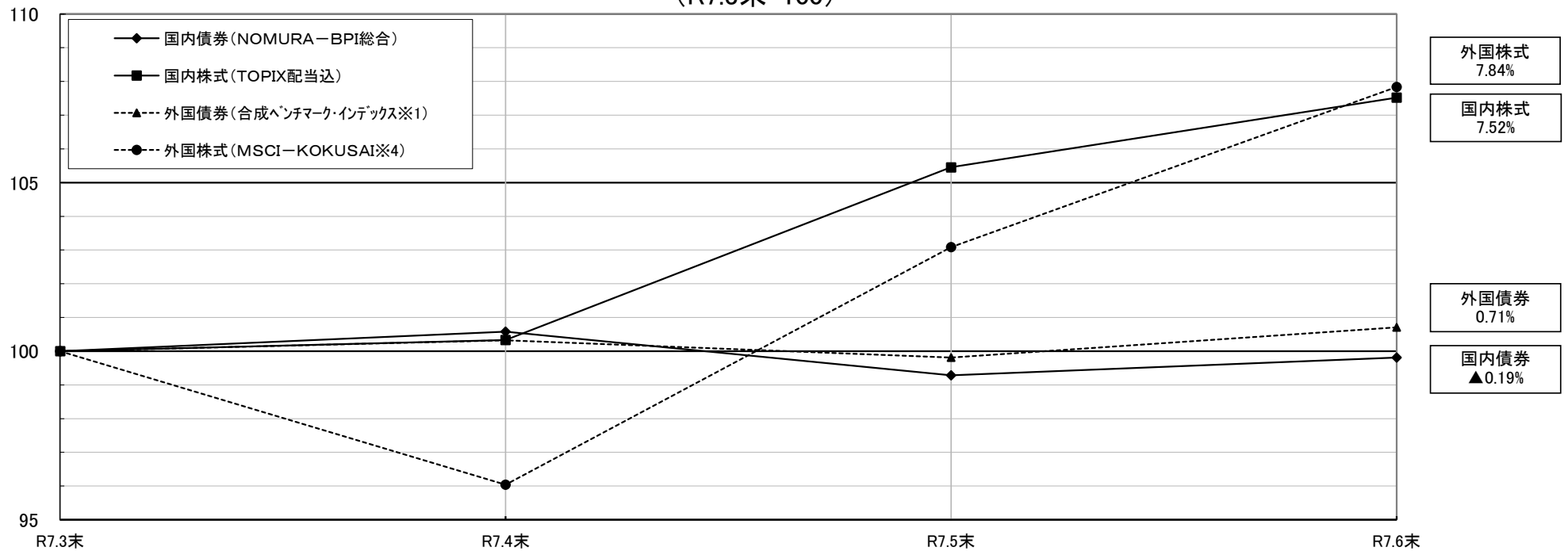
国内株式は、日銀金融政策決定会合後の総裁会見を受けて日銀が早期の利上げに消極的であるとの見方が強まった他、トランプ米大統領がイスラエルとイランの停戦合意を発表したことによる中東情勢の緊張緩和期待を受けて株価は上昇しました。

債券については、外国債券は米経済指標が市場予想を下回ったこと等による米景気の先行き不透明感が意識されたことで金利は低下（債券価格は上昇）しました。

国内債券は、日銀が早期の利上げに消極的であるとの見方が強まったことや超長期債の発行減額を受けて金利は低下（債券価格は上昇）しました。

なお、為替は米中貿易交渉が進展するとの見方からやや円安・ドル高となりました。

2. ベンチマーク・インデックスの推移 (R7.3末=100)



(参考) 市場インデックス

区 分	令和7年3月末	令和7年4月末	令和7年5月末	令和7年6月末
国内債券 (新発10年国債利回り)	1.485 %	1.310 %	1.500 %	1.420 %
(NOMURA-BPI総合)	349.164 ポイント	351.194 ポイント	346.678 ポイント	348.511 ポイント
国内株式 (日経225)	35,617.56 円	36,045.38 円	37,965.10 円	40,487.39 円
(TOPIX配当込)	4,626.52 ポイント	4,641.96 ポイント	4,878.83 ポイント	4,974.53 ポイント
外国債券 (米10年国債利回り)	4.207 %	4.163 %	4.403 %	4.230 %
(独10年国債利回り)	2.738 %	2.444 %	2.500 %	2.607 %
(FTSE世界国債インデックス※2)	331.405 ポイント	334.327 ポイント	331.360 ポイント	332.855 ポイント
(FTSE世界国債インデックス※3)	596.862 ポイント	588.776 ポイント	592.517 ポイント	605.797 ポイント
外国株式 (NYダウ)	42,001.76 ドル	40,669.36 ドル	42,270.07 ドル	44,094.77 ドル
(独DAX指数)	22,163.49 ポイント	22,496.98 ポイント	23,997.48 ポイント	23,909.61 ポイント
(MSCI-KOKUSAI※4)	8,617.132 ポイント	8,276.190 ポイント	8,883.192 ポイント	9,292.922 ポイント
為替レート (対ドル)	149.54 円	142.64 円	144.29 円	144.45 円
(対ユーロ)	161.53 円	162.15 円	163.81 円	169.56 円

※1 市場インデックスを基に基金において試算 (FTSE世界国債インデックス (除く中国・日本、為替ヘッジあり) 75%、FTSE世界国債インデックス (除く中国・日本、為替ヘッジなし) 25%)。

※2 FTSE世界国債インデックス (除く中国・日本、為替ヘッジあり)

※3 FTSE世界国債インデックス (除く中国・日本、為替ヘッジなし)

※4 MSCI-KOKUSAI (源泉税控除前、配当再投資、為替ヘッジなし)

3. 令和7年度第1四半期(令和7年4月～令和7年6月)におけるポートフォリオ別の運用状況

① 被保険者ポートフォリオ

令和7年度第1四半期(令和7年4月～令和7年6月)の被保険者及び期待者に係る資産の運用状況は、次表のとおり、令和7年6月末時価総額は2,978億16百万円となり、第1四半期の総合収益は72億6百万円となりました。また、修正総合利回りは2.46%となりました。

(単位:百万円、%)

資 産	令和6年度末 時価総額	令和7年6月末 時価総額	時価総額構成割合	第1四半期 の総合収益	(参考) 修正総合利回り
国内債券	140,394	142,445	47.8	-59	-0.04
自家運用	68,440	70,042	23.5	72	0.10
外部運用	71,954	72,403	24.3	-131	-0.18
国内株式	43,582	46,120	15.5	3,261	7.49
外国債券	57,686	58,396	19.6	414	0.70
外国株式	45,811	49,390	16.6	3,584	7.80
短期資産	4,913	1,466	0.5	5	—
合 計	292,385	297,816	100.0	7,206	2.46

- (注) 1. 政策アセットミックスは、国内債券50%(±5%)、国内株式15%(±4%)、外国債券20%(±2%)、外国株式15%(±4%)としています(カッコ内は乖離許容幅)。
2. 国内債券のうち自家運用(満期保有目的)については、償却原価法(定額法)を適用しています。
3. 令和6年度末時価総額は、令和6年度決算整理後の額となっています。なお、短期資産の4,913百万円は、決算整理前の額2,973百万円に被保険者危険準備金ポートフォリオ(付利準備金)からの補てん額1,939百万円を加算した額です。
4. 令和7年6月末時価総額(合計)は、令和6年度末時価総額(合計)292,385百万円に、総合収益等を加算し、受給権者ポートフォリオへの繰入額等を減算した額297,816百万円となりました。
5. 単位未満を四捨五入しているため、合計が合わない場合があります。(以下同じ。)

② 受給権者ポートフォリオ

令和7年度第1四半期(令和7年4月～令和7年6月)の受給権者に係る資産状況は、次表のとおり、令和7年6月末時価総額は1,109億15百万円となっています。

(単位:百万円)

資 産	令和6年度末 時価総額	令和7年6月末 時価総額
国内債券	106,637	108,218
短期資産	1,786	2,696
合 計	108,423	110,915

(注) 令和6年度末時価総額は、令和6年度決算整理後の額となっています。なお、短期資産の1,786百万円は、決算整理前の額3,209百万円から受給権者危険準備金ポートフォリオへの繰入額等1,423百万円を減算した額です。

③ 被保険者危険準備金ポートフォリオ及び受給権者危険準備金ポートフォリオ

令和7年度第1四半期(令和7年4月～令和7年6月)の危険準備金に係る資産状況は、次表のとおりとなっています。

(単位:百万円)

ポートフォリオ	区 分	資 産	令和6年度末 時価総額	令和7年6月末 時価総額
被保険者危険準備金 ポートフォリオ	付利準備金	短期資産	7,314	7,328
	調整準備金	短期資産	4,414	4,356
	合 計		11,727	11,683
受給権者危険準備金 ポートフォリオ	調整準備金	短期資産	7,540	7,665

(注) 令和6年度末時価総額は、令和6年度決算整理後の額となっています。なお、被保険者危険準備金ポートフォリオの短期資産の合計11,727百万円は、決算整理前の合計額13,667百万円から被保険者ポートフォリオへの補てん額1,939百万円を減算した額です。また、受給権者危険準備金ポートフォリオの短期資産の7,540百万円は、決算整理前の額6,116百万円に受給権者ポートフォリオからの受入額1,424百万円を加算した額です。

用語の説明

○ ポートフォリオ

資産を運用する際の保有資産の組合せのこと。また、組み合わされた運用資産全体を指すこともある（同義語 ファンド）。

○ 総合収益

利息、配当金や売買損益といった実現損益だけではなく、評価損益や未収収益を加味した収益のこと。

○ 修正総合利回り

総合収益を、運用元本に時価の概念を加味した残高で割って算出した収益率のこと。運用成績の開示に広く用いられている。

修正総合利回り = (総合収益) ÷ (運用元本平均残高 + 前期末評価損益 + 前期末未収収益)

○ ベンチマーク・インデックス

各資産の収益率を評価する基準となる指標のこと。

以下は、被保険者ポートフォリオにおけるそれぞれの資産のベンチマーク・インデックスとして、当基金が採用しているものである。

* NOMURA-BPI総合

野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社が作成している国内債券市場の指標。国内で発行された残存1年以上の固定利付円建債（A格相当以上）から構成される。国内債券市場の代表的な指標である。

* TOPIX(配当込)

株式会社 JPX 総研が算出している国内株式市場の指標。東京証券取引所上場銘柄から構成される。国内株式市場の代表的な指標である。

* FTSE世界国債インデックス

FTSE Fixed Income LLCが作成している外国債券市場の指標。主要各国が発行する国債から構成される。外国債券市場の代表的な指標である。

当基金では、次のとおりインデックスを採用している。

FTSE世界国債インデックス(日本、中国を除く。円換算。ヘッジあり)を 75%及びFTSE世界国債インデックス(日本、中国を除く。円換算。)を 25%により合算したもの

* MSCI-KOKUSAI(源泉税控除前、配当再投資、為替ヘッジなし)

MSCI Inc.が作成している外国株式市場の指標。主要各国(除く日本)の証券取引所上場銘柄から構成される。外国株式市場の代表的な指標である。